



平成30年度
みやの環境創造提案・実践事業
活動内容

みやの環境創造提案・実践事業とは

- ▶ 宇都宮市では、持続可能な環境都市の実現に向けた取組を支援するため、環境創造基金を設置し、市民の皆さんからの寄付金を積み立てています。
- ▶ 平成26年度から、この基金を活用して「みやの環境創造提案・実践事業」を開始してまいりました。
- ▶ これまで各団体の自由な発想で課題に取り組んでもらうため、「自由提案」のみでしたが、平成28年度からは、平成28年3月に策定した第3次環境基本計画の策定関係課の施策事業などからテーマを抽出し、そのテーマから募集をする「選択提案」を新たに設定しました。
- ▶ 平成30年度は、前年度から継続して活動を行った5団体と、新たに応募のあった3団体、計8団体に対して活動支援を行いました“宇都宮の環境をもっと良くしたい”と思う学生の皆さんの活動内容をまとめましたので、ぜひご覧ください。

各活動内容のテーマの上段に示しているのは、「第3次宇都宮市環境基本計画」に掲げた施策体系における5つの分野です。

→ ①地域環境 ②廃棄物 ③自然環境 ④生活環境 ⑤人づくり

《自然環境：自然ゆたかな街を目指して》

GAP認証による環境に配慮した持続可能な農業の推進活動の実践」 ～JGAP認証の取り組みについて～

宇都宮白楊高等学校 農業経営課

・環境に配慮した持続可能な農業を目指すため、GAPの意識を普及させ、地域の農業と環境の抱える問題の解決を図る。

主な活動内容

- ① トマトの試験栽培の実施
- ② 審査会の実施
 - 書類審査
 - 圃場審査
- ③ 活動記録の報告



トマトの収穫作業

◆活動の成果や感想

- ・GAPについて調べ、消費者は安全・安心な農産物を求めていることを知った。
- ・野菜学習の中心であるトマト栽培を通して、GAPを理解し、認証を目標に活動を開始した。
- ・市内の保育園や小・中学校の学校給食でトマトを提供したり、生徒や児童の交流勉強会の開催を通して持続可能な農業のあり方や意義などを幅広い世代に伝えて行きたい。



トマトの収穫作業



圃場審査の様子



販売実習の様子

《地球温暖化:地球にやさしいまちを目指して》

まちなかクールシェア・コンサートを活用した各種環境保護 関連活動の周知

宇都宮共和大学 UKU53

まちなかクールシェア・コンサートを活用し、温暖化防止活動等の各種周知活動を行うとともに、LRT導入に関する周知活動を行う。(昨年度からの継続事業)

主な活動内容

① まちなかクールシェア・コンサートの実施

➢ 7月、8月 2回開催

② 各種環境保護関連活動の周知



昨年度の実施効果

◆活動の成果や感想

- ・ 大学キャンパスのエントランスホールで、クールシェア・コンサートを実施し、コンサートによる節電効果の試算と同時に、いろいろな環境保護に関する主知活動実施した。
- ・ コンサート参加者数総数は260人。節電の効果は540kW、二酸化炭素にして273kgであった。



クールシェア・コンサート



童謡・抒情歌を歌おう会



宇都宮市立東小学校合唱部

《地球温暖化:地球にやさしいまちを目指して》

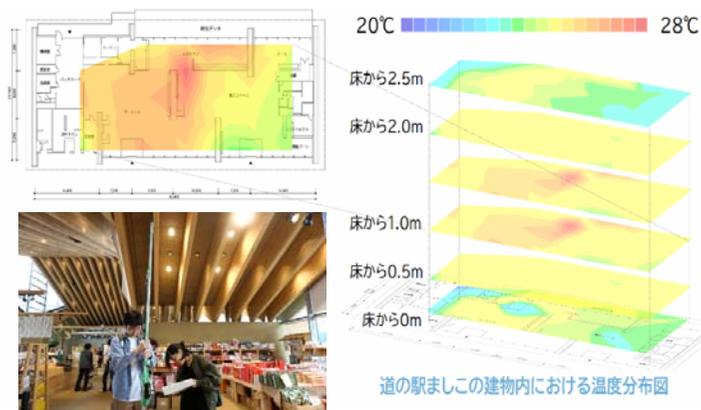
栃木県における建築物の環境性能を実測する事業

宇都宮大学大学院工学研究科建築環境研究室

市内の有名建築物の環境・省エネという点から、より良い建築・都市環境を作っていくためのヒントを探り、空間価値の向上を狙う。

主な活動内容

- ① 環境実測のための依頼
- ② 実際に温湿度・風速・騒音・明るさなどの測定
- ③ 得られた実測データと趣味レーションを活用した分析
- ④ 協力者へのレポート・フィードバック



建物空間内の熱のうごき

◆活動の成果や感想

- ・ 環境測定機器を用いて対象4物件の実態調査（各物件一週間ずつ）を実施した。
- ・ 環境やエネルギーのことを一般の人に知ってもらう必要性を感じた。
- ・ 周知活動等を通して、まずは、環境・省エネについて面白いと感じて興味を持ってもらいたいと感じた。



オープンキャンパス等での周知



中間報告会パネル

《自然環境：自然ゆたかなまちを目指して》

「土」から広がる生物多様性

宇都宮共和大学 自然遊びの会バーベナ

生態系の中で重要な役割を果たしている「土」に視点をあて、その機能や役割を体感できるプログラムを考案し生物多様性理解の普及につなげる。

主な活動内容

- ① エプロンシアターの実施
- ② 土でお絵かきの実施
- ③ ミミズの観察会の実施
- ④ 第32回保育士養成協議会・学生研究発表会にて取組の一部を発表



ミミズの観察会の様子



土絵の具の試作



エプロンシアターの様子

◆活動の成果や感想

- ・ 第32回保育士養成協議会・学生研究発表会にて、活動について発表できた。
- ・ プログラムにレベルを付けて活動したことでより効果的に生物多様性理解につながったと感じた。
- ・ 「土」を通して自然に親しみ、生態系への気づきにつながったと感じた。



学生研究発表会

《地球温暖化:地球にやさしいまちを目指して》

公共交通を利用することによる地球温暖化防止を考 える活動

宇都宮工業高等学校 機械科・科学技術研究部

ミニ新幹線を製作して環境イベントに参加し、公共交通機関を利用することで、地球温暖化防止に努められることを周知啓発する。(昨年度からの継続事業)

主な活動内容

① イベントへの参加 (パネルの展示等)

- 子供フェスティバル (5月20日)
- おもちゃ博物館 (11月25日, 1月4日)



活動のPRパネル



完成したミニリバティ



壬生町での感謝状贈呈式



イベントでの様子

◆活動の成果や感想

- ・ 各種イベントで、地球温暖化対策についてパネルを用いて周知した。
- ・ 今年度作成したミニリバティは、1月4日のおもちゃの博物館のイベントで、搭乗会を行い、イベントには約800人の方々が来場し車両に乗車した。
- ・ これまでのおもちゃ博物館でのイベント参加について、壬生町より感謝状をいただいた。

《自然環境：自然ゆたかなまちを目指して》

平成27年度環境大臣表彰事業「どんぐりから苗木一本国民運動」

特定非営利活動法人 とちぎ生涯学習研究会

地域の子どもたちが地元で拾ったどんぐりを、自らの手で苗木まで育て、地元の山に還す循環植樹活動を実施する。

主な活動内容

- ① ミヤラジを通して環境啓発
- ② 宇都宮市内の親子&全国の学生と植樹
- ③ 平石北小学校での記念植樹
- ④ 保育園での出張授業



平石北小学校での記念植樹

◆活動の成果や感想

- ・ ミヤラジを通して環境保全活動について幅広く周知した。
- ・ 2月に平石北小学校で記念植樹を実施した。
- ・ 今後は、植樹活動やイベントに、さらに多くの参加者を募ることを目指し、今まで以上に幅広く市内の学生に参加の呼びかけを行いたいと思う。



ミヤラジ放送



保育園での授業



植樹活動の様子

《自然環境：自然ゆたかなまちを目指して》

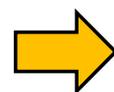
鬼怒川河川敷における生物多様性の保全活動

宇都宮白楊高等学校 生物工学科

宇都宮市上小倉地区で激減した絶滅危惧種のカワラノギクを増殖させ、鬼怒川河川敷の生物多様性の保全活動を行う。

主な活動内容

- ① 試験区（上小倉地区）での調査
- ② 組織培養技術を用いた実験
- ③ 保全区への定植



試験区での調査



カワラノギク



発芽の様子



組織培養による増殖

◆活動の成果や感想

- ・ 絶滅危惧種であるカワラノギクについて試験区を設けて生息速度の調査を行った。
- ・ 組織培養による大量増殖を行い、順化した苗ほぼ前駆に定植した。
- ・ 活動を通して多くの動植物が絶滅の危機に瀕していると感じた。
- ・ 日頃学習しているバイオテクノロジーが自然環境の保全に役立つことができれば、もっと多くの絶滅危惧種の保護につながるのではないかと感じた。



お問い合わせ

宇都宮市 環境部 環境政策課

〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5

TEL 028-632-2418

FAX 028-632-3316